

AXIS Q3839-SPVE Panoramic Camera 180°のオーバービュー、ステンレススチールケースに収容

AXIS Q3839-SPVEは、電解研磨したステンレススチールケースに収容され、過酷な環境に対応するように設計されています。29MPを提供し、4つすべての画像を途切れなくつなぎ合わせ、全体の状況を確認できるまとまった180°のパノラマ画像を実現します。ロスレスズームとリモートパン/チルト/ロール機能により、迅速でコスト効率の高い設置が可能です。デュアルAxisシステムオンチップを基盤とし、エッジで高度な機能と強力な分析機能を実行するディープラーニング処理ユニットを搭載しています。例えば、AXIS Object Analyticsが搭載されており、人物、車両およびと車両の種類の検知、分類、追跡、カウントすることができます。さらに、Axis Edge Vaultが装置を保護し、FIPS 140-2 Level 2認定済みのキーストレージと動作を実現します。

- > 耐腐食性、過酷な条件に対応
- > 8Kマルチセンサーカメラ、1つのIPアドレス
- > 高度な分析機能をサポートするAI搭載
- > 水平線補正とロスレスズーム
- > 内蔵サイバーセキュリティ「Axis Edge Vault」



AXIS Q3839-SPVE Panoramic Camera

カメラ

イメージセンサー
4 x 8.3 MP 1/1.8"プログレッシブスキャンRGB CMOS
ピクセルサイズ2.0 μm

レンズ
4.6 mm、F1.8
水平画角: 180°
垂直視野角: 90°
固定アイリス

デイナイト
自動IRカットフィルター

最低照度
カラー: 0.1ルクス (50 IRE、F1.8)
白黒: 0.03ルクス (50 IRE、F1.8)

シャッター速度
1/8500秒~1/5秒

カメラ調整
パン±176°、チルト30~88°、ロール±7°

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-8 (x2)

メモリー
RAM 4096 (x2) MB、フラッシュ8192 MB

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline、Main、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
7552 x 3776 ~ 512 x 256

フレームレート
すべての解像度で最大25/30 フレーム/秒 (50/60 Hz)

ビデオストリーミング
最大20の設定可能でユニークなビデオストリーム¹
Axis Zipstream technology (H.264/H.265)
VBR/ABR/MBR H.264/H.265
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

S/N比
55 dB超

WDR
Forensic WDR:最大120 dB (撮影シーンによる)

マルチビューストリーミング
最大8つのビューエリアを個別に設定可能

ノイズリダクション
空間的フィルター (2Dノイズリダクション)
時間的フィルター (3Dノイズリダクション)

画像設定
水平補正、彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、ホワイトバランス、デイナイトモード閾値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、圧縮、ダイナミックオーバーレイ (テキスト/画像)、プライバシーマスク

画像処理
Axis Zipstream、Forensic WDR、Lightfinder 2.0

パン/チルト/ズーム
デジタル PTZ
コントロールキュー
ロスレスズーム

音声

機能
自動ゲインコントロール
スピーカーのペアリング

ストリーミング
設定可能な通信方式:
一方向 (単方向、半二重)

入力
外部アンバランス型マイクロフォン入力、5Vマイク電源 (オプション)
デジタル入力、12Vリングパワー (オプション)
アンバランス型ライン入力

1. ユーザーエクスペリエンス、ネットワーク帯域幅、ストレージ使用率を最適化するために、カメラまたはチャンネルごとに固有のビデオストリームは最大3つまでをお勧めします。内蔵のストリーム再利用機能により、マルチキャストまたはユニキャスト転送方式を使用して、ネットワーク内の多くのビデオクライアントに固有のビデオストリームを提供できます。

出力
スピーカーペアリング経由の出力

エンコーディング
24bit LPCM、AAC-LC 8/16/32/48 kHz、G.711 PCM
8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz
設定可能なビットレート

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、
HTTPS²、HTTP/2、TLS²、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、
SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP[®]、
SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、
NTP、PTP、NTS、RTSP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、
UDP、IGMPv1/v2/v3、RTCP、ICMP、DHCPv4/v6、
ARP、SSH、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure
syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクロー
カルアドレス(設定不要)、IEEE 802.1X (EAP-TLS)、IEEE
802.1AR

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインター
フェース
VAPIX[®]、メタデータ、AXIS Camera Application
Platform (ACAP) など、ソフトウェア統合のための
オープンAPI(仕様については[axis.com/developer-
community](https://axis.com/developer-community)を参照)
ワンクリックによるクラウド接続
ONVIF[®] Profile G、ONVIF[®] Profile M、
ONVIF[®] Profile S、ONVIF[®] Profile T(仕様については
onvif.orgを参照)

ビデオ管理システム
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station
Pro、AXIS Camera Station 5、およびaxis.com/vmsで
入手可能なAxis/パートナー製ビデオ管理ソフトウェア
に対応。

画面上コントロール
プライバシーマスク
メディアクリップ
ヒーター
ファン

エッジツーエッジ
レーダーペアリング
スピーカーのペアリング

イベント条件
デバイスの状態: 動作温度範囲を上回ったとき/下回っ
たとき/範囲内、ファン異常、IPアドレスブロック、IP
アドレスの削除、ライブストリーム有効、ネットワー
ク接続断絶、新しいIPアドレス、リングパワー過電流
保護、システムの準備完了
デジタル音声入力ステータス
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、スト
レージの健全性に関する問題を検出
I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力
MQTT: ステータスレス
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール
ビデオ: 平均ビットレート低下、デナイトモード、
いたずら

イベントアクション
デナイトモード
I/O: I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間にI/
Oを切り替え
MQTT: 公開
通知: HTTP、HTTPS、TCP、電子メール
オーバーレイ(テキスト)
録画: SDカード、ネットワーク共有
SNMPトラップ: 送信、ルールが有効な間に送信
画像またはビデオクリップのアップロード: FTP/SFTP/
HTTP/HTTPS/ネットワーク共有/電子メール
LED: ステータスLEDを点滅、ルールがアクティブな間
にステータスLEDを点滅

設置支援機能内蔵
リモートパン/チルト/ロール: 最低200回のフルサイク
ルに耐える設計、オートロール、ピクセルカウン
ター、レベルグリッド

分析機能

アプリケーション
同梱
AXIS Object Analytics、AXIS Scene Metadata、
AXIS Video Motion Detection、いたずら警告、音声検
知
サポート
AXIS Camera Application Platformに対応し、サード
パーティ製アプリケーションをインストール可能
(axis.com/acapを参照)

AXIS Object Analytics
物体クラス: 人間、車両(タイプ: 車、バス、トラッ
ク、バイク、その他)
シナリオ: ライン横断、物体の対象範囲への侵入、領
域内の滞留時間による検知、クロスラインカウント、
エリア内の混雑状況、共連れ検知、PPE監視^{BETA}、エ
リア内の動き、ライン横断の動き
最大シナリオ数は10本まで
その他の機能: 軌跡、色分けされた境界ボックスおよ
びテーブルで視覚化されたトリガー物体
対象範囲と除外範囲
奥行きの設定
ONVIF動体アラームイベント

2. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project (openssl.org) によって開発されたソフトウェアとEric Young (eyay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

AXIS Scene Metadata

物体クラス:人、顔、車両(種類:車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート
物体属性:車両の色、上/下の服の色、信頼度、ポジション

認証

製品のマーキング

UL/cUL、BIS、CE、KC、VCCI、RCM

サプライチェーン

TAA準拠

EMC

CISPR 32 Class A、EN 55035、EN 55032 Class A、
EN 61000-6-1、EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ:ICES(A)/NMB(A)
日本:VCCI Class A
韓国:KS C 9835、KS C 9832 Class A
米国:FCC Part 15 Subpart B Class A

安全性

CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3、IS 13252

環境

IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP66/IP67/IP68、ISO 20653 IP6K9K、
IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250 Type 4X、
NSF/ANSI 169-2016

ネットワーク

IPv6 USGv6、NIST SP500-267

サイバーセキュリティ

ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS 140

認定

NSF:

証明書:C0759806

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ

ソフトウェア:署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749 クライアントクレデンシャルフロー/OpenID認証コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis暗号モジュール(FIPS 140-2レベル1)
ハードウェア:Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
安全なキーストア:TPM 2.0(CC EAL4+、FIPS 140-2 Level 2)、セキュアエレメント(CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ(TEE)
AxisデバイスID、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム(AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ

IEEE 802.1X(EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)³、IEEE 802.1AE(MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、HTTPS/HSTS³、TLS v1.2/v1.3³、Network Time Security(NTS)、X.509証明書PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化

ロスレスズーム ホワイトペーパー、axis.com/learning/white-papersで入手可能
AXIS OS/ハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
AXIS OSソフトウェア部品表(SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、axis.com/support/cybersecurity/resourcesにアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、axis.com/cybersecurityにアクセスしてください。

概要

ケーシング

IP66、IP67、IP68、IP6K9K、NEMA 4X、IK10規格準拠 ステンレススチール(EN 1.4404) ケース、ポリカーボネート(PC) ドーム
カラー:NCS S 5502-B

取付

取り付けブラケット、ジャンクションボックスの穴付き(ダブルギャング、シングルギャング、4インチ4角、4インチ8角)
3/4インチ(M25) コンジット穴(側面)

電源

Power over Ethernet(PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
タイプ2 Class 4
標準9.74 W、最大19.1 W
機能:パワーメーター

3. この製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Project([openssl.org](https://www.openssl.org))によって開発されたソフトウェアとEric Young(eyay@cryptosoft.com)によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。

I/O機能

設定可能な (デジタル入力、監視入力、デジタル出力)
I/O x 2、12 VDC出力、最大負荷50 mA

コネクタ

音声:3.5 mmマイク/ライン入力
I/O：4ピン、2.5 mmターミナルブロック
ネットワーク:シールド付きRJ45 1000BASE-T PoE

ストレージ

microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)
NAS (Network Attached Storage) への録画
推奨されるSDカードとNASについては、axis.comを参照

動作温度

温度:-40° C ~ 50° C (-40° F ~ 122° F)
NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度:74° C (165° F)
設置温度：-20° C (-4° F)⁴
起動温度:-40° C (-40° F)⁵
湿度:10~100% RH (結露可)

保管条件

温度:-40° C ~ 65° C (-40° F ~ 149° F)
湿度:5~95% RH (結露不可)

寸法

製品全体の寸法については、このデータシートの寸法図を参照してください。
有効投影面積 (EPA)：0.0374 m² (0.4 ft²)

重量

4800 g (10.58 lb)

パッケージ内容

カメラ、インストールガイド、ターミナルブロックコネクタ、コネクタガード、ケーブルガスカート、ウォールガスカート、プラグ、所有者認証キー

システムツール

AXIS Site Designer、AXIS Device Manager、プロダクトセクター、アクセサリセクター、レンズカリキュレーター
axis.comで入手可能

言語

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証

5年保証、axis.com/warrantyを参照

ソフトウェアサポート

2028年まで新機能展開 (AXIS OS Active 11、12、13)
2023年12月31日までサポート (AXIS OS LTS 2028)
AXIS OSのライフサイクルについては、help.axis.com/axis-osをご覧ください

製品番号

axis.com/products/axis-q3839-spve#part-numbersで入手可能

オプションアクセサリ

取付

AXIS T91F61 Wall Mount、AXIS T91F67 Pole Mount、AXIS TQ3003-SE Wall Mount、AXIS TQ3105-SE Pendant Kit

ストレージ

AXIS Surveillance Card

その他のアクセサリについては、axis.com/products/axis-q3839-spve#compatible-productsをご覧ください

サステナビリティ

物質管理

PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS、EU RoHS指令2011/65/EUおよび規格EN IEC 63000:2018に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、echa.europa.euを参照

材料

再生可能な炭素系プラスチックの含有率: 69% (再生プラスチック：31%、バイオ系：1%、回収炭素系：37%)
Axisの持続可能性の詳細については、axis.com/about-axis/sustainabilityにアクセスしてください。

環境責任

axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細についてはunglobalcompact.orgを参照)

4. PTRの機能性は-20 °Cからのみ保証されます。
5. 60分以内にビデオストリームが利用可能になります。

検知、監視、認識、識別 (DORI)

	DORIの定義	距離
検知	25 px/m (8 px/ft)	88.3 m (289.6 ft)
観察	63ピクセル/m (19 ピクセル/ft)	35 m (114.8 ft)
認識	125 px/m (38 px/ft)	17.7 m (58.1 ft)
識別	250 px/m (76 px/ft)	8.8 m (28.9 ft)

DORI値は、EN-62676-4規格で推奨されているように、用途別のピクセル密度を使用して計算されます。この計算では、画像の中心を基準点として使用し、レンズの歪みを考慮します。人物や物体を認識または識別できる可能性は、物体の動き、ビデオ圧縮、照明条件、カメラのフォーカスなどの要因によって変わります。計画時にマージンを使用します。ピクセル密度は画像の各部分で変わり、計算値は現実世界の距離とは異なる場合があります。

注目の機能

ステンレス鋼ケーシング

ステンレススチール (SS 316L) は、成分中の炭素の割合が少なく、錆や腐食に強い素材です。電解研磨された表面には欠陥やマイクロラフネスがないため、ステンレススチールのケーシングは錆や汚れ、環境劣化に対する耐性があります。

Axis Edge Vault

Axis Edge Vaultは、Axisの装置を保護するハードウェアベースのサイバーセキュリティプラットフォームです。すべてのセキュアな運用が依存する基盤を形成し、装置のIDを保護して、完全性を保護し、不正アクセスから機密情報を保護する機能を提供します。たとえば、セキュアブートは、装置が署名付きOSでのみ起動できるようにするため、サプライチェーンにおける物理的な改ざんを防止することができます。署名付きOSの場合は、デバイスで新しいデバイスソフトウェアが検証されてからインストールが受け付けられるようになります。また、セキュアキーストアは、安全な通信で使用される暗号情報 (IEEE 802.1X、HTTPS、Axis装置ID、アクセスコントロールキーなど) を、セキュリティ侵害が発生した際に悪意のある抽出から保護するための重要な構成要素です。セキュアキーストアや安全な通信は、Common CriteriaやFIPS 140認証のハードウェアベースの暗号計算モジュールを通して提供されます。

さらに、署名付きビデオにより、ビデオ証拠が改ざんされていないことを確認できます。各カメラは、セキュアキーストアに安全に保存された固有のビデオ署名付きキーを使用して、ビデオストリームに署名を追加し、ビデオの発信元をAxisカメラまで遡れるようにします。

Axis Edge Vaultの詳細については、[axis.com/solutions/edge-vault](https://www.axis.com/solutions/edge-vault)にアクセスしてください。

Forensic WDR

厳しい照明環境下で画像が不鮮明なカメラとは異なり、ワイドダイナミックレンジ (WDR) テクノロジーを搭載したAxisのカメラは、重要な検証用の詳細画像を鮮明に映し出します。最も暗い部分と最も明るい部分の差が大きいと、映像の有用性と鮮明さに影響することがあります。Forensic WDRは、目に見えるノイズやアーティファクトを効果的に低減し、フォレンジック用途に最大限に調整されたビデオを提供します。

Lightfinder

Axis Lightfinderテクノロジーは、暗闇に近い環境でも動きによる画像のブレを最小限に抑えた高解像度フルカラービデオを提供します。Lightfinderはノイズを取り除くことでシーン内の暗い部分を見やすくし、非常に低光量な環境でも細部まで捉えます。Lightfinderを搭載したカメラは、低光量では人間の視力を上回る色の識別力を発揮します。監視では、人、物体、車両を識別するために色が重要な要素となることがあります。

Zipstream

Axis Zipstream technologyは、ビデオストリーム内の重要な情報をすべて維持しながら、帯域幅とストレージの要件を平均50%削減します。また、Zipstreamには3つのインテリジェントアルゴリズムが搭載されており、これにより、関連するフォレンジック情報が最大解像度および最大フレームレートで識別、録画、送信されます。